

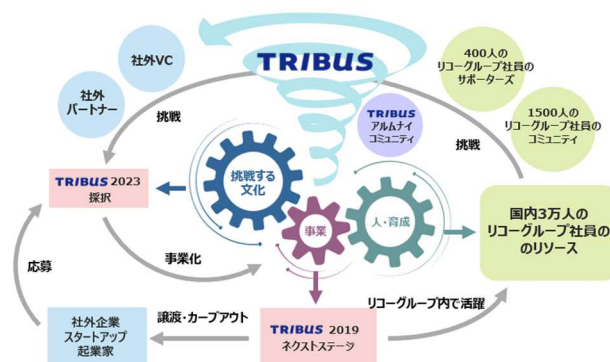
2024年2月9日

TRIBUS 社内起業家 1 期生のネクスト・ステージへのチャレンジが決定 ～「事業」「人」「挑戦する文化」を育てる TRIBUS の共創イノベーションの環がさらに拡大～

株式会社リコー（社長執行役員：大山 晃）は、社内起業家とスタートアップ企業の成長を支援し、事業共創を目指す社内外統合型のアクセラレータープログラム「TRIBUS（トライバス）」の初年度である「TRIBUS 2019」で採択された社内起業家 5 チームが、TRIBUS としての活動を終え、それぞれのネクスト・ステージに進むことを決定しました。

リコーは、価値創造に向けた基本的な考え方の一つにオープンイノベーションを掲げ、外部資本や知見を活用した新規事業創出を目指しています。また、多様な人材が生き生きと活躍できる「働きがい改革」の一環として、社員が新しい顧客価値の創造に自律的にチャレンジできる「TRIBUS」を推進してきました。

「TRIBUS 2019」で採択された社内起業家 5 チームは、社外スタートアップと切磋琢磨し、社外 VC からアドバイスを受けながら、新規事業の立ち上げ・事業化にチャレンジしてきました。活動の最終年を迎え、各事業の特性や状況に合わせて、リコー内のビジネスユニット（事業部・BU）への事業移管や、シナジーが見込める他社との提携・事業売却等、個別の成長戦略（ネクスト・ステージ）を策定しました。TRIBUS にチャレンジし、セレクションを経て採択された社内起業家チームのリーダー・メンバーは、新規事業の企画・立ち上げをはじめ、ひとつの事業の経営者としてさまざまな経験をしてきました。TRIBUS で得たかけがえのない経験・知見を活かし、引き続きリコーグループ社内で活躍します。リコーはこのような、自律的に考え行動し、多様な他者と協働することができる「自律型人材」の成長が、事業の成長と両輪であり、企業価値向上につながると考えます。



株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806(直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp

お客様のお問い合わせ先 株式会社リコー TRIBUS推進事務局

<https://webform.ricoh.com/form/pub/e00126/contact01>

TRIBUS では 400 名以上のリコーグループ社員が参加チームの要望に応じて支援するサポーターズ制度で活躍し、約 1500 人のリコーグループ社員のコミュニティが TRIBUS を応援しています。社外起業家・スタートアップ支援としては、のべ 32 社が本プロジェクトを通して、リコーグループやパートナー企業のリソースを活用し、事業の具体化及び事業加速に向けて活動してきました。

今回の社内起業家1期生をケーススタディとして、今後のネクスト・ステージ検討をスムーズに進められるよう、仕組やナレッジを蓄積してまいります。また、社内外の TRIBUS 卒業生が集う「アルムナイコミュニティ」を新設し、現在活動している社内外のチームに経験者としてのアドバイスやノウハウを伝承し、TRIBUS のさらなる活性化を図ります。

リコーは、TRIBUS によって「事業」「人」「挑戦する文化」をさらに育み、共創イノベーションの環をさらに拡大してまいります。

ブランド名・事業名	決定事項
RANGORIE	合同会社 For DiL にブランド譲渡することを決定しました。 詳細は 1 月 29 日発表のニュースリリースをご覧ください。 https://jp.ricoh.com/release/2024/0129_1
RICOH Virtual Workplace https://accelerator.ricoh/rvwp	お客様の任意の空間を VR 上で再現し、各自が VR ヘッドセットを使ってその空間に一堂に会することが可能なソリューション「RICOH Virtual Workplace」を開発し、お客様向けに提供しています。特に活用が見込める建設業のお客様向けに有償実証実験を行うなど、安定的な事業化に向けて活動しています。 これまではインキュベーション期間として、TRIBUS 推進室のもとで活動してきましたが、事業拡大に向けてリコーデジタルサービス BU に移管しました。
WEeT-CAM https://accelerator.ricoh/lifeparts2019weeetcam/	3D プリンターを活用したピコ水力発電を独自開発し、レンタルサービス「LIFE PARTS」を提供。国土交通省が主導する下水道応用研究や、独立行政法人国際協力機構(JICA)の 2020 年度第二回「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」に採択されるなど、国内外で活動し、その社会課題解決につながる取り組みは高く評価されています。 今後に関しては、詳細決まり次第、商品ページでお知らせします。
RICOH Image Pointer https://www.ricoh.co.jp/products/list/ricoh-image-pointer-gp01	映像をその場でリアルに共有するコミュニケーションツールとして、手持ちで使えるポケットサイズのプロジェクター「RICOH Image Pointer」を開発しました。リコー初のクラウドファンディングを実施し、開始後 4 日で、目標を大きく上回る 3 千万円を超える支援を獲得しました。 開発完了に伴い、メンバーは社内の各事業部に戻りますが、現行商品は引き続きご購入いただけます。
Stare Reap	リコー独自のインクジェット技術によって、さまざまな凹凸・テクスチャー表現が可能で、アートの世界に新しい価値を創造し、アートを身近に感

https://artgallery.ricoh.com/	<p>じることができる文化を提案してきました。2021年には、東京・銀座4丁目交差点に面した三愛ドリームセンター(2023年から解体中)にRICOH ART GALLERYを開廊し、国内外の著名アーティストとコラボレーションしてきました。2022年には「令和4年度文化庁長官表彰」にも選出され、高い評価を得ましたが、今後の事業環境を精査した結果、活動中止の判断に至りました。</p>
---	---

■ 関連情報

「TRIBUS」Web サイト

<https://accelerator.ricoh/>

「TRIBUS スタジオ」Web サイト

<https://accelerator.ricoh/tribusstudio/>

■ 関連ニュース

スタートアップを支援する事業共創プログラム「RICOH ACCELERATOR 2019」を開始

https://jp.ricoh.com/release/2019/0417_1

統合型アクセラレータープログラムの成果発表会を開催

https://jp.ricoh.com/info/2020/0221_1

* 記載の社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

| リコーグループについて |

リコーグループは、お客様のDXを支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2023年3月期グループ連結売上高2兆1,341億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>